

令和6年度第2回芽室町総合教育会議 議事録

日 時 令和6年11月27日(水) 16:00~16:40  
場 所 芽室町役場2階会議室7

出席者	芽室町長 教育委員会 教育長 教育長職務代理者 委員	手島 旭 程野 仁 鳥本 和宏 松久 大樹
欠席者	委員 委員	土井 禎悟 福井 栄子
総合教育会議事務局	政策推進課長 政策推進課政策調整係長 政策推進課政策調整係	有澤 勝昭 大石 秀人 天野 美音
教育委員会事務局	教育推進課長 教育推進課長補佐 生涯学習課長	坂口 勝己 清末 有二 江崎 健一

議事録

1 開会

要綱第4条に基づき、手島町長が議長になり進行

2 議題

(1) 2025年度実行計画について

大石政策調整係長から、資料に沿って実行計画について説明。

手島町長

せっかくの機会であるため、気になるところがあればページごとにご質問いただきたい。  
P1小学校施設維持管理事業については計画を頭出しにして、優先度を考えて進めている。学校だけでなく、庁内の公共施設の蛍光管は、製造中止の影響でLEDへの入れ替えにお金がかかる。

大石政策調整係長

施設数は400~500軒ある。

坂口教育推進課長

LED化に係る費用は、小学校だけで1億1千万円。中学校で5千7百万円である。

松久委員

子どもが減っているという理由で使わない教室が出てこないものか。

手島町長

LED化は施設全体の課題である。  
他に意見がなければ、次に進む。

手島町長

実行計画について、性質上1番先に見るのは次年度の予算である。3か年しか記載ができないため27年度に金額が集中するようになってしまう。だが、27年度に記載のあるすべてのことを実施できるかどうかはまた別の話というのが実態である。25年度については、概ね記載に近い金額である。

松久委員

山村留学の推進について、町長の気持ちとしては、どちらにアクセルを踏みたいというはあるのか。今は積極的にPRしているとは思えないが、それでも来ている人はいるため、意味があることだとは思う。

手島町長

山村協には、移住フェアに同行していただいたり、相談が結構来ている状況。学校の配置計画の絡みもあるのと、地域振興でもマイナスにならない。当面は、山村協がなくなるわけでもないため活動としては続けていく。

程野教育長

工夫しながら人を集めていくが、山村と合致した子どもを呼びたい。最終的には、学校の存続維持というところがあるが、その付帯効果として地域の活性化に繋げたい。それにしても、上美生小学校の子どもが令和8年で留学生1名、令和9年で1名であり、山村留学頼みでは厳しいと思うため、他の制度も活かしながら進めていく。

鳥本委員

山村留学からの移住者はいるのか。

大石政策調整係長

上美生の山村留学に来て、そのまま移住された方がいる。現在は、上美生地区を盛り上げる活動に参加されている。

松久委員

他の自治体では、保育所でも、短期で都会からの受け入れをしており、それをきっかけとした移住者が増えているというところがある。もし今よりも力を入れて取り組むのであれば、小・中学校だけでなく、その下の保育所も含めてもいいのではないかと。

手島町長

清水町でも保育留学を実施している。だが、今の段階では方向性を明確に決めることは難しい。

程野教育長

配置計画については、地域の合意形成を図って作っていきたいと思っている。

手島町長

P 8 大学等就学支援事業について、就学支援は所得制限を撤廃し、件数が増えている。一時的にまちの負担は増えるが、あくまで貸し付けである。

松久委員

P 1 1 学校健康診断実施事業（小学校）について、フッ化物洗口は、かなり昔から否定的な意見もあったと思うが、どのタイミングで話が上がったのか。

清末教育推進課長補佐

コロナ明けで復活する学校が増えたことや、以前から北海道教育委員会より実施の指導を受けていたということである。

松久委員

管内の小・中学校は実施しているところはあるのか。

清末教育推進課長補佐

実施しているのはほとんどが小学校である。北海道の自治体でいうと実施率は9割。管内は、音更町・芽室町・幕別町が未実施である。

手島町長

否定的な意見もあるが、幼稚園・保育所では実施しているということと、副作用があるわけではないため問題がないという判断をした。

程野教育長

経緯としては、2022年の実行計画には検討すると記載をしており、その前から水面下では進める流れであったが、否定的な意見や学校の職員の負担もあり実施していなかった。

手島町長

P 1 3 教材・教具整備事業（中学校）について、端末更新に経費がかかる。

大石政策調整係長

端末代は1台あたり5万5千円の補助が出るが、設定費にお金がかかる。

鳥本委員

P 1 5 給食材料購入事業について、現在、給食費をまちに22円補助してもらっているが、個人的には、十勝は食料自給率が1100%であることや少子化が進んでいることから、全額は難しくとも、今よりも補助額を大きくしてもらえたらと思う。

手島町長

食材提供はこれからもお願いしていきたい。給食費については、今のままだと物価高騰もあり赤字になってしまう。小学校で35円、中学校で46円上がっている。この上乗せ分は町で持つ方針であり、保護者の負担は、現状維持になるようにしている。国の無償化の方針が見えない中、自治体単位で動くのは厳しい。すでに無償化している自治体もあるが、規模の小さいところである。食材

提供について、農協が単価を組んでくれてやってもらえるのはありがたいことである。

鳥本委員

給食のメニューは、食材の量に合わせて考えるのではないため、食材を集めることが結構難しい。

手島町長

P21 コミュニティ・スクール運営事業の活動について。

程野教育長

順調に進んでいる。計画に直接リンクするような形になってきている。学校の課題を学校だけでなく、地域・保護者・行政で解決できるよう、地域をフィールドにしたアクションを起こしていく。

手島町長

P25 健康プラザ維持管理事業の人工芝の張り替えについて。

江崎生涯学習課長

前回の補助から10年が経つため、2026年度には補助金がもらえるのではないかとということで計画をしているが、絶対ではない。

松久委員

ほかにこの部分の整備が必要というのはあるのか。

江崎生涯学習課長

ボイラーと屋根の雨漏りを全面的に整備したい。

手島町長

雨漏りに関しては屋根の形状が変わっているため、どこから漏れているかわからない状況。修理するととなると6千万円かかる。

手島町長

他に意見がないため、議題は以上で終わる。

方向性を示しているため、詳しくはお時間のあるときにご覧いただきたい。

16:40 閉会